

朝晩はまだ冷え込みますが、だんだんと春を感じられるようになってきました。東京では早くも桜の開花宣言がなされたようです。今冬は寒さも風も厳しいものでしたが、この春は農業に携わる皆様にとって、忙しくとも穏やかな日々になればよいと思うばかりです。

(担当 N.S)

(目次)

1. 米に関するマンスリーレポート(令和3年3月)
 2. 令和3年度山形県農作業事故防止啓発運動の実施について
 3. 最上川流域の紅花の生産・加工技術が世界農業遺産に申請されることが決まりました。
 4. ガバメントクラウドファンディング募集中！-記録的大雪被害復興支援-
-

【1. 米に関するマンスリーレポート(令和3年3月)】

農林水産省より3月号が配信されました。

詳しくは下記URLよりご参照ください。

○特集

- ・令和3年産米等の作付意向について(第1回中間的取組状況(令和3年1月末現在))
 - ・酒造好適米の需給状況(推計)
 - ・中食・外食向けの米の販売実態について(令和元年7月から2年6月)
-

【2. 令和3年度山形県農作業事故防止啓発運動の実施について】

山形県農作業事故防止啓発運動が4月10日から実施されます。特に春先は、久しぶりのトラクター運転で、感覚が取り戻せていないことによる操作ミスが原因の事故が多くなる時期です。

<事故防止のチェックポイント>

- ・機械の点検・整備を忘れずに
 - ・安全フレームやシートベルト付きトラクターで安全確保
- 久々のトラクター、焦らず、準備万端に、気を引締めましょう！
-

【3. 最上川流域の紅花の生産・加工技術が世界農業遺産に申請されることが決まりました】

農林水産省は2月19日、本市を含む8市町で構成する山形県紅花振興協議会

が応募していた「最上川流域の紅花システム～歴史と伝統がつなぐ山形の『最上紅花』」について、国連食糧農業機関（FAO）が認定する世界農業遺産に申請することを決定しました。室町時代から450年にわたって続く紅花栽培の歴史の中で、最上川舟運で酒田に運ばれた紅餅は、西回り航路を通過して北前船で上方に運ばれ、その帰りの荷として紅花染のひな人形や友禅といった京の文化が酒田にもたらされました。最上川流域の紅花は一級品として高値で取引され、米とともに酒田商人の隆盛を支えたという歴史もあります。2019年2月に日本農業遺産に認定され、今回の決定を受けて今秋をめどにFAOに申請します。世界農業遺産の認定は2022年以降になる見通しです。舟運や北前船交易によって栄えた港町の歴史や文化を発信することで今後も最上紅花のPRに貢献していきます。

【4. ガバメントクラウドファンディング募集中！-記録的大雪被害復興支援-】

令和3年1月に発生した記録的な大雪と暴風雪により、650棟を超える農業用パイプハウスが破損・倒壊するなど、市内の農業者が大きな被害を受けました。営農を諦めずに次期作へ向かえるよう支援を行うため、ふるさと納税型クラウドファンディングに挑戦することとなりました。募集期間は2021年2月15日から3月31日まで、目標寄附金額である100万円は達成しましたが、引き続き募集中です。ご支援・ご協力いただいた皆様には御礼申し上げます。ありがとうございました。

本プロジェクトによって募った寄附金は、被災したパイプハウスの復旧に要する経費の一部とさせていただきます。プロジェクトの情報を是非、お知り合いの方々に拡散をお願いします。ふるさと納税と同様に返礼の品物も選択できます。返礼品でも生産者の皆さんを応援しましょう。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1178>



酒田市農政課メールマガジン 「さかた農林水産業お役立ち情報」

発行日：毎月2回

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するホームページ

<http://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

◇ メール内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇ メールマガジンへの配信登録、アドレス変更、配信停止はこちらの
メールに返信してください。

